

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年6月号(第128号)

発行責任者 佐藤 重松

ところざわ倶楽部



時局講演会「原発問題を語る」

講師: 村田光平先生(元駐スイス大使、東海学園大学名誉教授)



2019. 5. 14 時局講演会 講演者 村田 光平氏 会場: 新所沢公民館ホール 写真撮影/仲山 富夫氏

## 時局講演会盛況のうちに終了・次はところざわ倶楽部まつり

事業部 森野 辰夫

### 時局講演会 報告

“原発問題を語る” 講師: 元駐スイス大使・村田光平氏  
2019年5月14日開催

参加者: 197名

(ところざわ倶楽部会員 113名 一般 84名)

多くの皆さんにご参加戴きホールは満席となる盛況でした。

現代社会の歪、とりわけ原発問題に対する多くの方の関心の深さの現れではないかと思われまます。

アンケートも100名以上の方から回答を戴きました。講師の①新しい文明、母性社会への転換、②原発の危険性の話には多くの方から共感の声寄せられました。また“ところざわ倶楽部”の時局講演会に期待する声も聞かれました。今後も皆様の要望に応じて参りたいと思っております。

### ところざわ倶楽部まつり案内

開催日予定: 2019年9月24日 25日

予備日 9月18日 19日

開催場所: 松井公民館(予定)

今年度は従来の文化祭、サークル発表会を合体し、多くの方が楽しめるようなイベントを目指し“ところざわ倶楽部まつり”と名称を改め開催する予定です。

“実行委員会”により準備を進めており次のような催しを検討しております。

- ① 舞台出演
- ② サークル発表(舞台)
- ③ サークル展示
- ④ 個人展示
- ⑤ 特別企画(検討中)

時局講演会  
聴講して

## 東日本大震災から8年

活いきシニア福祉の会  
23期 和貝 一子

東日本大震災から8年、日本のエネルギーを考えさせられた講演でした。電車で会社や学校へ向かいながらスマホでニュースや動画等を見る。夜はエアコンの効いた快適な部屋でTV、PCを見る。日本のこうした便利な暮らしを支えているのは電気、

ガス、ガソリン等々のエネルギー。しかし震災で原子力発電所が停止。さて日本のエネルギーの自給率は？日本全域を支えるだけのエネルギーを作るのは大変だ。だが、多くの生命が失われた原子力を再稼働するのは不道德、無責任、この言葉はぴったりだと思う。先生のおっしゃる「母性文化」は文字だけだと難しいのですが、説明して頂き父性、母性、両文化の違いや意味が理解できまし

た。チャップリンやガンジーの言葉の引用も分かり易かったです。先生の優しい感性を感じました。人を守る、生命重視、皆が考えねばならない事だと思う。これからの子供達の時代は母性文化に向かって欲しいと願う。

オリンピックの話題も出ました。震災被害を受け仮設住宅に住んでいる人達がまだいる中、オリンピック開催が東京に決定。復興が終わってないのに何故？今？と思った。そんなお金があるのなら家を失ったり、生活が困難な人達をまず救ってほしい。災害が多い日本。他にも支援を必要としている場所がある。まずは人に優しい日本が必要だ。それからオリンピック開催でもよいのでは？と今も思っている。もっと私達も情報のアンテナをしっかりと張るようにしたいと思いました。先生、ありがとうございました。

## 「原発問題を語る」を聞いて

所沢の自然と農業

21期 井上 幸夫



講演会后、村田さんのホームページで、元外交官というキャリアを生かして原発問題を多方面に発信していることを知った。とりわけ安倍晋三首相(H. 31. 3. 13 付)、経団連中西会長(H. 31. 3. 21 付)など政財界トップへ

も「フクシマ事故後8年を経ての所感」を届けている。内容は、14日の講演会とほぼ同じもので、福島原発問題にひそむ諸問題は日本の文化、経済、歴史、道徳、倫理、哲学など日本独特の事柄が起因しているとも述べている。また村田さんは著書「原子力と日本病」(2002年刊)でM8級の地震で南海トラフが走る静岡県の浜岡原発(4基)が危ないと指摘していた。17年前の話だ。9年後、M9の地震が発生し福島原発事故がおきた。(歴史のみでM8クラスの地震は起こりうる以前から政府は公表していた)。原発関係者にとっては想定外だったのか。自然災害大国日本、54基の原発を持つ日本でなお再稼働を進めてよいのか 村田さんならずとも他人ごととは思えない。

さて、私個人の体験を2つ。今から30年ほど前、義兄

がいたある私大の原子力研究所の原子炉を見学した。白衣をまもって簡単なゲートを通すだけで入れた。透明なプールに3本の制御棒が立っていたのを覚えている。研究所では核分裂反応で発生する中性子を利用して脳腫瘍の治療法ほかの研究をしていた。場所は東京近郊、発電はせずともまぎれもなく原子炉だった、今は廃炉になっている。もう一つは、福島原発事故発生後の8月の東北旅行。ホテルを予約済みだったので決行した。高速道を行き交う車両はほとんどが貨物車、泊まった福島のホテルの一般客は少なく全国から来た自衛隊、警察関係者で満ちていた。せっかくの旅行だったが何か後ろめたさを感じたものだった。

情報：福島県内では浜通り地方を中心に太陽光パネルの設置が急増している。11年度に66メガワットだった発電量が昨年度推定約23倍の1,514メガワットに。全国の電力消費量に占める再生可能エネルギー発電量の割合(17年度)は約16%だが福島県内では約7割相当と各段に高い。(毎日新聞 2019年5月18日)



### 1. はじめに

ところざわ倶楽部の会員の皆さま、第 27 期市民大学受講生募集に際しましては多大なご支援ご協力ありがとうございました。

第 27 期企画委員は昨年 25 期 2 年次修了後の 11 月から 17 名で発足し、講座・講師の選定と募集要項パンフレットの検討を先ず始め、今期キャッチフレーズは「見つけよう！ もう一人のわたし」としました。

そして募集要項には、私たち企画委員が学んで感じた市民大学の全体像・講座・講師・グループ活動を

- 学ぶ楽しさ 知の探求
- 多分野で充実した講座
- 魅力的で選りすぐりの講師陣
- 学びの中で仲間づくり

と四つの言葉で表現し、多くの方々に魅力ある市民大学をアピールしました。

### 2. 募集状況

募集定員 70 名を大幅に上回る応募者があり、市民大学の存在の重さを改めて感じております。

4 月 18 日抽選会が厳粛で厳正な進行の下に行われました。男女の比率は抽選の偶然の結果ですがほぼ拮抗しています。

また、今回募集に際しては企画委員会より電子申請受付の提案を出し、QR コード等の対応処理を生涯学習推進センター事務局で行っていただきました。応募申込みの比率は従来の葉書と電子申請がおおよそ半々であったとの報告で、今後の流れとなります。

### 3. 講座と講師

第 25 期企画委員三役の方々のご指導で、講座の組み立てもスムーズに進みました。特に新しい講師の選定に

あたっては、ところざわ倶楽部とのご縁で快く受諾していただいた先生もおり、倶楽部のお力に感謝をいたしております。

27 期は従来からの継続した講義と、新たに講座と講師を入れ替えた組み合わせで構成されており、全 25 講座のうち 2 年次の講座がある 7 科目は各 2 コマを、その他は 1 コマの設定として、多分野で多彩な講座を学習できるようにしています。

また、社会活動家で東大特任教授の湯浅誠先生の「子どもの貧困」、その他「異世代間コミュニケーション」、「食の安全」、「日本とロシア」の時局にタイムリーな四講座を設定し、新しく 8 人の講師を迎え、より充実した授業を目指しました。

時代に反映した新しい講座を取り入れ新鮮さを失わないプログラムは必要ですが、一方で、これまでの市民大学で築きあげられてきた人文科学・自然科学・社会科学・所沢学を骨格とした分野別の講座の配置は大切にしていきたいと思えます。

### 4. おわりに ～市民大学と倶楽部～

市民大学への応募動機は百人百様、年齢層も幅広く考え方も多種多様ですが、入学して聴講するごとに学ぶ楽しさを発見します。そして 1 年次 2 年次と仲間の輪が広がり、修了後も交流が続くようになります。

市民大学修了は一つの入口で、地域やサークルに活動の場を求める卒業生にとって「ところざわ倶楽部」は大切な存在で、市民大学の存続が倶楽部の隆盛につながります。

6 月 6 日の開講式から毎週木曜日の講座が始まります。ところざわ倶楽部会員の皆さまには、より一層のバックアップをお願いいたします。

おすすめの1冊  
第3回

心に沁みだ多くの作品

23期 菅谷 健二



「読書家」というほどではないが、書物には若い頃から親しんできた。主に小説・詩歌だが、そこから“一冊”を選ぶのは困難と思える。それで今まで読んできた本の中から共感を得た、心に残ったものを挙げていきたいと思う。



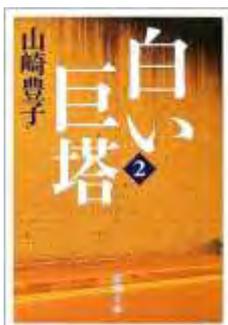
古典の中からはなんとと言っても『奥の細道』をあげたい。西行が能因の奥州行脚の後を慕い陸奥を旅し、更に芭蕉は崇拝する西行と心を一つにとの思いからかみちのくに赴く。元禄2年に旅立ち150日間の旅を終え江戸に戻ったのだが、それから推敲を重ね3年後に完成されたといわれる。流石に練りに練られた文章であり、俳句は言わずもがな地の文にも珠玉の輝きがみられ何度読んでも感銘を受ける。芭蕉の豊富な教養・知識がいたるところに散見できる。



詩歌では藤村か。若き日に感動し語じたものだった。傷心の作者が宮城野に心の宿を求め、千曲川に旅愁を慰める姿が目につく。『若菜集』、『落梅集』など。



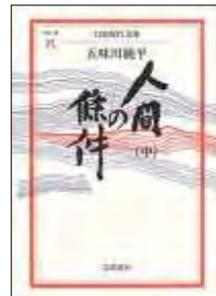
小説は長編が好きだ。勿論、短編は短編なりの輝きは感ぜられるけれど、ストーリーを追ってどう物語が展開するのかページをめくる楽しみは尽きない。谷崎潤一郎『細雪』。第二次大戦中に時世を離れ、四人姉妹に日本の伝統美を求めていく。物語の面白さに惹きつけられてしまう。面白さで言えば山崎豊子の多くの長編をあげずにはおられない。医学界の暗部を描いた『白い巨塔』以降の作品群。多くは事実に基づいているといわれる。閨閥の世界を描いた『華麗なる一族』、シベリヤ抑留と商社『不毛地帯』、日本人移民問



題『二つの祖国』、中国残留孤児『大地の子』。枚挙に遑がない。TVドラマや映画になった作品も多いが是非活字で読んでみたいものである。加賀乙彦の長編『永遠の都』。自伝的小説といわれているが、昭和10年からの時田家の多くの人々が時代に翻弄されながらも生きていく姿を描いている。新潮文庫全7巻。この物語は更に続編『雲の都』と語り続けられてゆく。歴史小説では司馬遼太郎だろう。“司馬史観”といわれるほどに、この作者の描いたものは事実のように思われている。正に「講釈師見てきたような嘘を言い」である。それだけに面白く、ぐいぐいと物語の中へ引きずり込まれてしまう。『竜馬がゆく』『坂の上の雲』『この国のかたち』（市民大文学Gで研修）他に『城塞』『関ヶ原』『峠』などの長編がお勧め。



自分がもう10年15年早く生まれていたらあの忌まわしい戦禍に巻き込まれ大きく人生は変わっていたのではという思いからか、戦記文学を読み漁るようになった。名作は多い。大岡昇平『レイテ戦記』阿川弘之『暗い波濤』等々。それらの中で最も感動したのは五味川純平『戦争と人間』。前作『人間の条件』で書き足らなかつた“戦争と人間の多様な重層的な錯綜した命がけの無意味な諸関係”（著者）を余すところなく描き、昭和文学の代表的作品の一つと思える。



「戦争と平和！」  
第 12 回

## 甘栗 1 個からの話

松本 紀彦

以前、遊学していた「生きがい大学」の学友だったNさんとの不思議なご縁をお話し致します。

或る日、校友会のバス旅行で「筑波宇宙センター」に向かっていた。そのバスの中で前列に座っていたNさんから「甘栗でも食べませんか」と数個の甘栗を勧められました。



Nさんにお礼方々「僕はこの天津甘栗の産地の天津で生まれたのですよ」と何気なく話したら「エッ、

それでは天津の塘沽港から引き揚げてきたの？」

と言われて、想定外の返答に大変驚きました。

私自身は記憶の彼方に忘れ欠けていた「塘沽」



(タンクー) という言葉を突然言われてビックリ。「Nさん何でそんな地名を知っているのですか？」と聞き返しました。Nさんは、私は終戦後に「引き

上げ船の船員をやっていたので、中国の天津塘沽港には何度も行っていましたよ。」との話で、これには2度ビックリして思わず目が点になりました。

サア～それからは、タイムマシーンに乗って一気に70年前の過去に遡り、延々とその当時の思い出話を語り合いました。縁もゆかりも無いと思っていたNさんと「ピンポイント」のご縁があることが判り、お互いの厳しい時代の生き様や、全く知らなかったNさんの青春時代のお話を聞かせて戴きました。

Nさんの戦時中の経歴は、命懸けのすさまじいもので、学園時代にお見受けした「温厚なご

隠居様」の印象とは懸け離れ、生死のはざまを何度も乗り越えた辛く厳しいものでした。

戦時中は10代の学生時代に召集され海軍の輸送船に乗っていました。戦争末期には南シナ海で乗っていた艦船が米軍の猛攻撃を受け、最後に魚雷が命中して沈没し、サメのいる海中に投げ出され生死不明の状態に在りました。十数時間の漂流後にヤット友軍の艦船に救助され、奇跡的に生還したとの事です。

もう一度は、広島で幹部候補生として訓練中、原爆に遭遇する直前でしたが、ラッキーな事上官から郊外に所用を命じられ、広島の爆心地から離れていた為に九死に一生を得たとの事です。

戦後は一転して、故郷でのんびり畑を耕していたそうです。ところが、マッカーサーの司令部GHQから突如呼び出しが来て、何事かと不安をもって上京しました。GHQからの命令は、邦人の引き上げのために「引揚者の輸送業務」に就いて欲しいとの事。早急に米軍貸与の上陸用舟艇LSTに乗り込み、中国や韓国に残留している数万人の邦人を引き取る任務に就けとの命令でした。

もしかして、私達の一家が昭和21年2月天津、塘沽港からの引き上げの際に、Nさんの乗船していたLSTに乗っていたかも知れません。今となっては検証の術もない事です。

数日間狭い艦艇の中で船酔いに耐え、不味い食事に耐えヤット佐世保港に着きました。「日本に着いたぞ～」の興奮した声が艦内に響き渡り、ほぼ全員が甲板に出て身動きもせず港灣を眺めていた姿や、幼い私が船の甲板から見た佐世保の青い山々は目に染みて、今も忘れられません。これが「甘栗1個から」Nさんとの奇遇な御縁の始まりでした。Nさんは現役時代に様々な重責を担う仕事をし、航空事業の発展に貢献された功労者です。偉そうなところは微塵も見せず、いつも泰然自若、遊び事は常に楽しくて大人の風格のある所をいつも見せられてとても尊敬しています。

## サークル活動報告

## 「楽しく学ぶ」がモットーです！

活きいきシニア福祉の会  
川上 紀春

メンバー17名で高齢者福祉・健康に関する知識を深めることを目的に、楽しく学習活動を行っています。

すっかり初夏の気配となりましたが、本年3月の例会は航空公園で「お花見」をしました。満開には少し



航空公園でお花見

早いタイミングでしたが、すがすがしい春風を感じながら雑談に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。

それでは、その他の第12期の主な活動についてご紹介します。

【11月】「二人の桃源郷」ビデオ鑑賞とサークル新入会員の歓迎会

「二人の桃源郷」は、老夫婦と彼らを支える家族の姿を足かけ25年にわたり追いかけたドキュメンタリー映画。電気も水道もない山で暮らす夫婦と、離れて暮らす子供たちの愛情あふれる交流に参加者一同心打たれ、胸に迫るものがありました。

ビデオ鑑賞後は、2名の新規加入の皆さんとささやかなランチ歓迎会を行いました。

【12月】「不都合な真実2」ビデオ鑑賞と地球温暖化について意見交換

【1月】25期市民大学2年次「福祉グループ」発表会用資料による学習会

新入会員2名の方が福祉グループ所属だったため、発表会テーマ「超高齢社会を生きる」を参考に意見交換を行いました。所沢市の介護制度の現状、住み慣れた地域で自分らしく生きるためには何が必要か、改めて学び考えることができました。

【4月】「憲法問題」「アベノミクス検証」について学習及び意見交換

所沢も超高齢社会に突き進んでいますが、これからも元気で楽しく学習活動を行いながら親睦を深めたいと思います。

## 食は生命の源

食を通して所沢を知る会  
矢崎 みどり

毎日の食生活は私たちの心と体の健康を支えてくれます。その大切さを知る為、月1回第3火曜日に全員で役割分担をして活動しています。

## ▲ミニ講演会▲



当麻 好子氏

○所沢の子供食堂の現状（当麻氏）

○東京農工大名誉教授、淵野先生による遺伝子組み換え作物、食品の現状とその安全性、食に及ぼす影響。種子市場の寡占化などのお話を聞きました。生態系を乱し、子孫に対する影響など計り知れない怖さを感じました。

○玉上会員による「お茶の科学と中国茶の話」

（11月の予定）

## ▲見学▲

○横浜中華街の食と街の散策（10月に予定）（環境サークルとのコラボ）

○スパイス工場見学。サントリー工場見学等

## ▲料理▲

○スパイス料理、「参鶏湯」を作りました。

新大久保「韓国広場」で材料調達、本格的料理に舌鼓を打ちました。



参鶏湯作り

## ▲地域社会への還元▲

○地元ぶどう農家の袋掛けの手伝い、お茶摘み等を予定。

○フードバンクへの食材の提供協力等、微力ですが今後とも楽しみながら地域の輪に加わる事ができたらと願っています。

# サークル活動計画

## 興味のある活動に参加してみませんか？

**1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)**  
 6月14日(金) 13:00~13:30 中央公民館 例会、13:30~15:30  
 及川道之先生講義「古事記上巻⑨」(4月~7月4回シリーズ)  
 6月27日(木)11:00~ 国立能楽堂、能楽鑑賞  
 7月19日(金)13:00~15:30 中央公民館 例会と古事記講義

**10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)**  
 6月20日(木)13:30~16:00 中央公民館 学習室8・9号  
 講座「所沢織物の軌跡」講師 野老澤歴史伝承人 三上博史氏  
 7月1日(月)9:00~12:40 集合 下山口駅改札口9:00  
 富士塚山開き見物ー荒幡富士・八国山周辺の史跡巡り

**2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)**  
 6月19日(水)13:30~16:00 中央公民館  
 新入会員歓迎ミニ講演会 小嶋一郎氏／はやぶさ秘話  
 7月24日(水)予定 13:30~16:00 中央公民館  
 準会員中村静子氏／お茶の話 (アジアのお茶など)

**11. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)**  
 6月8日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室7号  
 6月22日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室2号  
 いずれも「リチャード3世」を輪読していきます

**3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)**  
 6月26日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター 定例会  
 出前講座聴講検討中  
 7月24日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター(予定)  
 定例会

**12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)**  
 6月14日(金)10:00~12:30 西新井町会館  
 洋画「アポロ18号」(11年)~NASAが封印していた映像が  
 6月25日(火)10:00~12:30 西新井町会館  
 邦画「あゝ陸軍軍戦闘隊」(69年)~所沢・航空隊の発祥~

**4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)**  
 6月4日(火)「ジャズ」、「ファド」、「民族音楽」ほか  
 楽しい音楽を満喫してください!!!  
 7月9日(火)ロッキーニ 歌劇「セビリアの理髪師」  
 いずれも13:15~ 中央公民館 3階8・9学習室

**13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)**  
 6月25日(火)TEPIA先端技術館見学 国立競技場駅徒歩11分  
 ロボットAI<<高齢者医療に関わる>>等の最先端技術を知る。  
 入館料無料 昼食は館内にて摂る。  
 詳細は本橋 ☎2944-1555迄

**5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)**  
 6月18日(火)10:00~12:00 ふらっと会議室  
 出前講座 発酵食品について 安部美穂講師  
 興味がある方ご参加歓迎  
 7月16日(火)サントリー工場見学&食事会

**14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)**  
 6月17日(月)14:00~16:30 新所沢東公民館  
 テーマ「坂道地区と平坦地区が住民健康に及ぼす影響について」平塚氏  
 7月16日(火) 学習会「市議選アンケート資料(村瀬氏)」

**6. 地域の自然を考える会 (岩本 賢次 2923-9324)**  
 6月25日(火)10:00~12:00 12号地生保全整備  
 作業:下草刈・常緑樹等の除伐  
 作業ご希望の方、北中グランド西側のトトロ12号地に、参集  
 ください(事前申し込み不要)

**15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)**  
 6月21日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館  
 ボランティア活動室2号 定例会 民話読み合わせ  
 「河童のお伊勢参り」「塚ノ越地蔵」  
 7月1日(月) 楽々おしゃべりサロン (藤田洋子氏宅)にて  
 民話の会

**7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)**  
 6月18日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 研修室 定例会  
 環境持寄り学習、ところざわ倶楽部祭り展示内容検討  
 7月16日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 研修室 定例会  
 ところざわ倶楽部祭り展示内容検討 環境持寄り学習

**理事会報告**  
 5月13日(月)第6回理事会を開催~松井公民館  
 ・佐藤会長コメント 明日14日(火)時局講演会は満員を期待  
 している。文芸講座は定員(90)に対し(114)の応募があり  
 感謝申し上げますとともに、抽選に漏れた方々にはお詫び申し  
 上げます。葵の会秋の自主講座にご参加いただきたい。  
 ・“ところざわ倶楽部まつり”概要を広場6月号P1に掲載。  
 この日理事会・実行委員会を“まつり”予定会場の松井公民  
 館で開催し、ホールやホワイエを理事・実行委員で確認した。  
 ・広場7月号で倶楽部まつりの準備活動記事を組むので、参加  
 サークルは6/20までに記事を投稿してください。  
 ・笠松泰洋先生の文化交流使帰国報告会 6/14(金)14:00~中  
 央公民館学習室8・9号にて。先着60名。  
 第7回理事会 6月17日(月)9:00~10:30  
 第5回実行委員会 同日10:30~12:30  
 \*文芸講座対応のため両会場とも生涯学習推進センター102号

**8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)**  
 7月3日(水)13:15~15:00 中央公民館 定例会  
 議題 シニア世代「市政ひよこ塾」開催準備ほか  
 チアダンス練習日 6月8日(土)、22日(土)13:00~17:00  
 生涯学習推進センター、中央公民館 見学大歓迎

**9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)**  
 6月13日(木)13:00~15:00 新所沢公民館 定例会  
 15:00~17:00 スパイス料理実習。(講師:園田ヒロ子氏)  
 6月18日(火) 柳瀬荘黄林閣散策路整備ボランティア。  
 6月27日(木) 市大ファーム収穫祭(会場:陽子ファーム)

みんなの広場 第14回

葵の会 岡田 渥子

忘れられない言葉

公民館で「乳幼児とママの集い」というサークルのボランティアをしていた。孤独になりがちな若いママのために「語らいの場」というのが狙い。月に一度の集いだが、毎回10時になると、若いママと乳幼児が次々とやってきて、畳敷きの大広間はいつぱんににぎやかになる。毎回、ベテラン主婦が5~7人待機していて赤ちゃんを預かる。あちこちにママたちの輪ができ、笑い声が弾ける。知らない人に抱っこされた我が子がぐずっているのを横目に見ながら（お任せ）とばかり、仲間との会話を楽しみ、くつろぎ、自分だけの2時間を満喫して帰って行く。回を重ねるごとにベテラン主婦との間に信頼が深まっていった。馴染みになった赤ちゃん和妈妈との別れの時がきた。別れぎわ、一人のママが言った。「参加するまで、我が子をかわいいと思ったことは一度もありませんでした。ここにきて皆さんから『かわいいねえ。いい子ねえ』と言われてはったのです。（我が子はかわいいんだ）



と初めて気づきました。ありがとうございます」深々と頭を下げ去っていく後ろ姿が輝いて見えた。周りの小さな手助けで自分を取り戻した若いママのこの言葉は今も私の胸をあつくする。

むさし野俳句会（令和元年 五月）作品抄

- 本殿の屋根を転がる夏落葉 小林 典子
子を持たぬ子への手土産柏餅 佐藤 八郎
ポール追ふよちよちの子と夏の蝶 白神 恵子
抱きし子の鼓動触るるや柿若葉 高梨 千代
庵主なき山の寺庭花蜜柑 高橋三加子
ばらぼると音符のやうやえごの花 高光 泉
春疾風三富の畑捲り上げ 利根川啓一
手に残る水かき翳す立夏かな 中嶋 弘子
海岸線走る目の前大西日 中村 直子
ポスターはモナリザの笑み春の雷 橋本 佑子
近く順のあと先乱れえごの花 平栗 彰子
子等叫ぶ小川を泳ぐ夏帽子 宮本 信生
緑さすステンドグラスに遺る傷 荒幡千鶴子
岡寺の一つ鐘打つ若葉風 飯泉 陽子
寺町の雨後の石段著我の花 井出 昇
大夕立バス一便をやり過す 海老澤愛之助
緑陰の散歩は虫除け杖上げて 粕谷のぼる
せせらぎの楓若葉の色となり 河瀬 俊彦
大仏の数多の螺髪緑さす 小林 貞夫
大海の一点覗く箱眼鏡 鈴木 征子



《編集後記》

◆先日の編集会議で玉上広報部長より早稲田大学加瀬裕子先生から香港中文大学の学生20名が加瀬先生のところ...

川柳(四十三) 作品発表 選 中島峯生

課題 「相談」

- なぜかしら三人寄るも文殊出ず 庵 閑子
別腹に相談したらまだ食える 鼻 文子
意見聞き反対されて困り果て 縄 文子
相談が愛されると勘違い 鼻 文子
押ししてみる委細相談年齢も 突 拍子
親の金なくなる前に墓じまい 縄 文子
「自由句」
肩書の邪魔をせぬようサンガラス 庵 閑子
夫婦問うなずくだけで分かりあい 突 拍子
高くつく家庭菜園趣味と逃げ 縄 文子
支えられ何もできない爺は飲む 庵 閑子
そばかすは長寿の証お大事に 縄 文子
高齢者死ぬまで稼げ税欲しい 縄 文子

次回(第44回) 課題「便利」そして「自由句」、
締切り日: 6月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)